



広重版画より 三島 朝霧

第2318回例会

2021.12.2晴

司 会

小塚英樹君

国歌斉唱

四つのテスト

ロータリーソング

「日も風も星も」
指揮 杉崎亮慈君

会長挨拶

会長 森崎祐治君

いよいよ師走です。森崎年度も6カ月目に入ります。

計画はここまでコロナ禍の影響で予定通りいかない点もありましたが皆さんのお力を得て先月は奉仕活動も実施でき食事もとれるようになりました。周年行事の取り組みも始まりました。

一つご報告が遅れてしまったのですが今年度の地区の取り組みの一つであるロータリー川柳を新聞に掲載し地域にロータリーを広報する企画について皆さんから応募いただきありがとうございました。実は当クラブ野田和秀さんの作品が選ばれて8月23日の山梨日日新聞に掲載されましたことをご報告いたします。作品は「黄金比 自利と他利にもあてはめて」です。黄金比とは安定的で美しい比率、別名「神の比」とも言われています。およそ1:1.618、およそ5:8の比です。自分のことより他人のこと(奉仕)に多く努めるが美しい理想ですよとおっしゃっているのではないかと想像しました。いい言葉ですね。

因みに三島RCでも募集したそうですが会員の山岡修一さんは「百首一人」を目指して8月20日から詠み始めて9月9日に百首達成、先月お会いした時は250首達成したと250首分載せたプリントをいただきました。傘寿、80歳を迎えられてすごいエネルギーですね。

本日は年次総会、クラブ協議会が開かれます。どうぞよろしくお祈りいたします。

出席報告

	出席総数	出席率	メ ッ ク	修 出 席 正 率
前々回	26/41	63.41%	30/41	73.17%
今 回	44/50	88.00%	会員総数	53名

欠席者 梶山君、鈴木(正)君、諏訪部(照)君、藤江君、古屋君、横溝君

幹事報告

幹事 川名正洋君

①12月行事予定

2日(木) 呉竹 理事・役員会

通常例会 年次総会・クラブ協議会

9日(木) 呉竹 夜間例会・テーブルミーティング

23日(木)例会日例会場所変更

18:00 忘年家族例会 みしまプラザホテル

②今日は年次総会、クラブ協議会です。各委員長は上半期の報告をお願いします。

③前回例会時にご協力頂いたボリオ募金ですが34,000円募金がありました。

④12月9日のテーブルミーティングですが、50周年実行委員会委員会別会議を開催します。

⑤12月19日せせらぎ三島RC主催の奉仕デーです、10名程度の参加をお願いします。

⑥10月31日に発生した本町大中島商店街大規模火災で被災された元メンバー山形楽器さんへお見舞金の募金をお願いします。

⑦1月の例会について、11日が4クラブ合同新年会ですが13日は通常通り例会を開催します。

⑧東本町交差点に設置してあります「とびだし注意」の看板について字が消えていて意味がないという投書を頂きましたので、現地視察して対処します。

年次総会

次年度理事役員承認

選考委員長の鈴木郁夫君より、以下の通り次年度理事・役員候補者が発表され、承認されました。

理事 花房孝光(次年度会長)

平出利之(次々年度会長)

古屋英将(次年度幹事) 三田明宏(会計)

森崎祐治 内田満洋 加藤憲勝 柴崎恵子

栗原達治 西川洋司

役員 杉崎亮慈

会計報告

川名幹事より2021～22年度前期の会計報告の発表がありました。

理事会

1.報告・協議事項

①12月9日テーブルミーティングにて50周年実行委員会委員会別会議開催します

②12月19日せせらぎ三島RCロータリー奉仕デー参加協力について当クラブの奉仕デーにはせせらぎ三島RCから11名の参加がありましたので19日は同数程度の参加をする。

③12月23日 忘年家族例会については感染対策をしっかりとし開催する。

④本町大中島商店街大規模火災における元メンバー山形楽器さんお見舞金の募金をする

⑤1月の例会日は11日4クラブ合同新年会、13日例会(理事・役員会)を開催する。

⑥4クラブ合同新年会の会費は全額会費負担とし、メンバーからの徴収は無し。

⑦投書頂いた「とびだし注意」の看板については幹事が現地確認し速やかに対処する。

⑧来年3月の苗栗RC51周年式典参加については、コロナ感染拡大の状況をみて1月度理事・役員会で判断する。

クラブ協議会

SAA

秋山恭亮君

令和3年度は新型コロナウイルス感染リスク低減のため、休会や食事なしの例会など、イレギュラーな形が多い半年でした。その中、SAAでは先輩の柴崎さんと西本さんと相談しながら、小塚くん、杉崎くん、秋山の若手も臨機応変に動くというバランスの元、例会の運営を行ってきました。令和3年度もおおよそ半分立ちましたが、大きなトラブルもなく例会の運営ができたと思っております。残り6か月も規律のある中、西ロータリーの伝統である楽しく親睦を深められる例会運営を心がけてまいります。皆様、ご協力お願いいたします。

クラブ広報委員会

委員長 赤池克斗君

副委員長森藤賢さん、矢岸克行さん、澤田稔さんと円滑な週報発刊に努めております。50周年を迎える三島西ロータリークラブの会長として10月9日静岡新聞の“この人”欄で、森崎会長の記事を掲載し、当クラブの取り組みや運営方針について広報ができました。引き続き、価値を高める広報に取り組んでまいります。

会員増強維持委員会

委員長 前田博利君

今年度前半は横溝さん、岩崎さん、南木さんが入会していただきメンバーが53名となりました。引き続き後半も会員の増強維持に努めてまいります。皆様の御協力に感謝いたします。

クラブ管理運営委員会

委員長 原 久一君

今年度、上半期は、コロナ禍によりクラブ運営は計画通りに運営ができず各委員会や卓話予定者には、多大なご迷惑やご心配をおかけしました。緊急事態宣言が解除され、これからのクラブ運営に期待するや否や新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」が国内において確認され、これからの下半期が危惧されます。休会による卓話予定者の方には、今後、機会があれば卓話の機会を考えております。どうぞ諦めずに期待してください。あらかじめ1ヶ月前に連絡をします。

出席報告

7月9日、76%

8月9日、83%(8月の例会は1回のみ)

10月8日、25%

※10月迄の平均出席率は、91、28%

下半期の運営についても出席率の維持・向上に務めてまいりますと考えております。尚、やむを得ず例会欠席の場合はインターネットでもメイキャップができます。例会出席にご協力をお願いいたします。

親睦活動委員会

委員長 平出利之君

例会の受付とスマイル報告の活動をしております。

12月は、クリスマス忘年家族例会の準備をしているところであります。

皆様のご協力お願い致します。

ロータリー情報委員会 委員長 鈴木郁夫君

前期は特にこれといった活動は行っておりませんが、来年の2月に新会員に対する勉強会・懇親会を開催する予定です。

また今年は「ロータリー日本100年史」が発刊されました。なかなか豪華で立派な装丁(そうてい)で3分冊からなり、それにプラスして本全体のデータの入ったDVDが付属しています。

メインは「ロータリー日本100年の歩み」副題が「ロータリー日本 思想の潮流」ということでロータリー創立から現在までの、思想、運動の変遷が、物語風に書かれています。

別冊1は100人のロータリアンの方に対する紹介文、また「ロータリーの本棚」ということで8人の方の文章が載っています。特に職業奉仕についての内容が多いようです。

別冊2は年表・資料で、日本と世界のロータリーとその当時の世情を対比して書かれた年表や米山奨学事業の歩み、地区の変遷、規定審議会について、その歴史、採択された立法案の概要、日本のロータリーとの関係などが記されています。

6600円を払って購入するもよし、当クラブにも1冊ありますのでそれを直接閲覧するもよし、全体がデジタルデータになっているのでパソコンやiPadでも見ることができます。

クラブフォーラムなどでの機会があれば、またその内容を少し詳しく紹介したいと考えています。

職業・社会奉仕委員会 委員長 木村安紀夫君

活動報告

・11月6日(土) ポリオ撲滅募金活動

主催:三島ロータリークラブ

参加団体 せせらぎ三島RC 三島西RC 日大三島高校
および知徳高校インターアクト十数名

13:00より三島ヨーカドー、日清プラザ前で活動

¥64,476円の募金が集まりました

・11月7日(日)

主催:三島西ロータリークラブ

参加団体 三島RC6名 せせらぎ三島RC11名
三島西RC会員家族26名 三島国際交流協会有志16名
計65名

奉仕内容:当日は8:30に楽寿園に集合

開園前30分程度、落ち葉拾いを実施

朝早くから多数お集まりいただき短時間ではありますが、積極的に清掃活動をしていただきありがとうございます。回収した落ち葉は肥料として再利用されるとの事です。なお、清掃活動に使用した清掃用具は楽寿園に寄贈いたしました(費用¥10,541)

当日は、三島市国際交流協会主催のフェアが実施され、お天気にも恵まれ多数の市民の方が訪れました。当日の奉仕活動はロータリーのアピールの一助になったと思われる。

上半期総括

前半は新型コロナの影響で自粛ムードが続き、ほとんど活動ができない状況でしたが、10月に入りコロナが急速に治まりを見せ、ロータリー奉仕デーの活動も実施する事ができました

12月19日(日)にはせせらぎロータリークラブ主催でSBSマイホームセンター三島展示場 本部前で11:30より子供食堂への食料支援を行います

参加いただくロータリアン1人につき1個の食料品または日用品を持参いただき寄付をお願いいたします

当クラブの会員各位には奮ってご参加いただき、ロータリーのアピールをお願いいたします

なお、当日はクラブ指定のジャンパーを着用、マスク着用をお願いいたします

国際奉仕委員会 委員長 千葉慎二君

苗栗RCとの交流事業はこの2年間新型コロナに振り回されてきましたが、今年度も引き続き不透明な中で進んでいます。

中学生交換事業、今年度は苗栗からの中学生を受け入れる年度ですが、三島市など行政当局の意向も踏まえた上で、11月の理事会において残念ながら中止する決定を致しました。また、来年3月に予定される苗栗RC51周年記念例会への訪台出席については当初12月中にその可否の判断をする予定でしたが、新年1月の理事会までその決定を保留することとしました。

そんな中で、11月7日(日)に、職業・社会奉仕委員会がロータリー奉仕デーとして清掃奉仕例会を開催した折に、三島市国際交流協会主催のオータムフェアに多くの会員が顔を出し盛り上げて戴いたのが貴重な活動実績となりました。

ロータリー財団米山委員会 委員長 柴崎恵子君

ロータリー財団・米山奨学会の寄付ご協力有難うございました。

- | | |
|--------------|----------|
| 1、前期財団への寄付金 | 3,000\$ |
| 2、米山奨学会への支援金 | 270,000円 |

令和3年9月17日ロータリー財団より地区補助金として入金 200,000円

(地区補助金配分基準は期首会員数21名以上50名以下に200,000円、51名以上70名以下に300,000円、となっております。したがって、次年度は期首51名以上に該当するため300,000円となる予定。)

おめでとう

会員誕生日 川名君
入会記念日 澤田君
結婚記念日 杉崎君、澤田君、加藤君
遠藤(眞)君、関本(照)君

スマイルボックス

- ◆ 窪田君、昨日第一テレビのずん飯尾さんのまるごとワイドに谷田木材が出演しました。本日も出るみたいです。ありがたいと思います。午後5:30からです。
- ◆ 木村君、11/7のロータリー奉仕デーには会員の皆様朝早くから参加ありがとうございました。天候にも恵まれ国際交流協会との協力で楽しい1日が過ごせた事御礼申し上げます。

八月三日 山梨日日新聞掲載



ロータリー川柳
野田和秀君の作品

表彰



米山功労者 第5回マルチプル
関本文彦君

ROTARY NEWS

RI会長メッセージ

パンデミックにより依然として世界中で人びとの命が危険にさらされているこの状況下では、公衆衛生が人びとの関心を集めています。マスクを着用しソーシャルディスタンスを保つようになった今、人びとは新型コロナウイルスのせいで医療従事者の仕事について以前よりもくわしくなったとも言えます。そして、パンデミックと闘う中、大切な人びとを守るために自分に何ができるのかということも学びました。

12月はロータリーの疾病予防と治療月間です。このたびのパンデミックで、疾病が地域社会にもたらす打撃を私たちは最悪の形で知ることになりました。しかし、疾病との闘いは世界中でロータリアンが何十年も前から尽力してきたことなのです。ロータリーの七つの重点分野の一つでもあります。

ロータリアンは、健康と幸せは人としての権利だと信じています。それなのに、世界中で4億人の人びとが命と健康を守る医療サービスを受けられない状況にあります。診療所や眼科病院、血液銀行の設立や、設備が整っていない地域で医療を受けられるようにするための体制づくりなど、私たちが行っている活動はどれも、恵まれない人びとにもっとも甚大な被害を出す感染症流行を止めるために重要なのは医療へのアクセス、予防、そして啓蒙活動であるという根本的な信念に根ざしています。

私が医療活動にかかわったのは所属クラブであるCalcutta-Mah-anagarロータリークラブに入会してからのことです。中でも印象的なのは、これまで2500件を超える心臓手術をインドやパキスタン、バングラデシュ、ネパール、アフリカの子どもたちに無料で施してきた Saving Little Hearts というプログラムの立ちあげにかかわったことです。いまや国際的なプログラムとなりましたが、当初の目標は地元の地域社会でたった6件の手術を行うことでした。今日では、今後5年間で20,000件の手術を完了させるのが目標となっています。

こういった課題に取り組み、世界に模範を示すのがロータリーの役目です。ロータリーが世界中で実施しているファミリー・ヘルス・デーには、ここ10年間で医療従事者や政府職員が10カ国で250万人の人びとに無料で診察を提供してきました。同様のヘルスキャンプ(無料巡回診療)がインドでも行われ、何千人もの恵まれない人びとに無料で手術を提供してきました。インドからアフリカへと毎年派遣される医師団は、疾病予防と治療における実地的な奉仕活動の好例です。また、地元でできる活動もあります。たとえば、米国やメキシコのクラブはメキシコの小さな町ゲレロで無料診療クリニックを設立・運営する資金を提供しています。

それからもちろん、市民社会の医療ケアにおける最高の例は何と言ってもロータリーのポリオ根絶活動です。

今月は、ぜひ疾病の予防と闘いに重点を置いてクラブ活動の予定を組み立ててください。より多くの人びとに変化をもたらすために、今こそ、クラブと地区のプロジェクトでこれまで以上に大規模で大胆なアプローチを採用すべきです。目標達成に向けて現状を確認しましょう。何カ月ではなく何年にもわたって変化を保てるような戦略を立てましょう。

誰もが健康で長生きするべきなのです。みんなの人生を豊かにするために奉仕すれば、あなたが今日とった行いのおかげでほかの誰かが長生きすることになるでしょう。

(週報担当: 赤池克斗)